

話す力 聞く力がぐんぐん育つ



# 発表の時間

1 もっと伝わる  
スピーチ



ダウンロードできる  
ワークシートで  
準備もカンペキ!

Gakken



# 1巻 もくじ



はじめに … 4 ページ  
この本の使い方 … 5 ページ



## 第1章 元気よく自己紹介しよう … 6 ページ

その1 声のトーンを意識しよう … 7 ページ  
その2 身ぶりや表情で聞き手を引きつける … 8 ページ  
その3 緊張しないためには？ … 9 ページ  
その4 自己紹介で何を話す？ … 10 ページ  
**発表の時間** はじめまして！ ぼくの名前は… … 12 ページ  
**デジタル**で伝えよう  
デジタルツールを活用しよう … 14 ページ

## 第2章 夏休みの思い出を楽しく伝えよう … 16 ページ

その1 話の組み立てを考えよう … 17 ページ  
その2 「いちばん伝えたいこと」を決めよう … 18 ページ  
その3 発表の原稿を作ろう … 20 ページ  
**発表の時間** この夏一番の思い出は… … 22 ページ  
**デジタル**で伝えよう  
インターネットを使って調べよう … 24 ページ



## 第3章 観察結果をまとめて発表しよう … 26 ページ

その1 どんな方法で発表する？ … 27 ページ  
その2 わかりやすい資料を作ろう … 28 ページ  
その3 資料を見せながら発表するには？ … 30 ページ  
**発表の時間** ミニトマトを観察したら… … 32 ページ  
**デジタル**で伝えよう  
プレゼンテーションソフトを活用しよう … 34 ページ



## 第4章 発表のしかたいろいろ … 36 ページ

その1 ブックトークをしよう … 38 ページ  
**発表の時間** ぼくのおすすめの本は… … 40 ページ  
その2 ワークショップで「かるた遊び」 … 42 ページ  
**発表の時間** かるた遊びをやってみよう！ … 44 ページ  
その3 プレゼンテーション 調査編！  
～まちの課題を見つけよう～ … 46 ページ  
その4 プレゼンテーション 提案編！  
～解決方法を提案しよう～ … 48 ページ  
**発表の時間** ぼくたちの提案は… … 50 ページ  
**おまけ** コピーして使えるワークシート … 52 ページ

# はじめに



## 「発表」とはなんですか?

この本では、「自分の考えを伝えること」を発表と考えて、いろいろな発表の仕方を紹介しています。

1巻では、たくさんの人の前で、自分の考えや伝えたいことを話す場面、2巻では、自分の考えを伝えながら、相手の考えも引き出す、対話の場面を取り上げました。

自分の考えをきちんとまとめ、わかりやすく話す力、また、相手の考えをよく聞いて、正しく理解する力は、大人になってからも役に立つ、とても大切な力です。この「話す力」と「聞く力」を身につけていけば、周りの人とコミュニケーションを取りながら、新しい考えを生み出すこともできるのです。

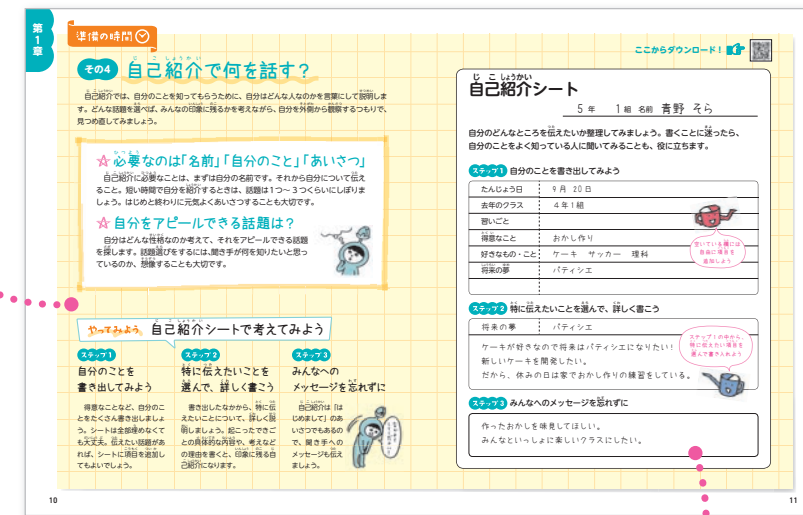
## みなさんは、「発表」は得意ですか?

緊張してうまく話せなかったり、相手の考えがうまくつかめなかったりすることもありますよね。この本にも、発表の苦手な3人の友だちが登場します。3人とも、発表には自信がない様子…。

でもそれは、発表のコツを知らないだけです。ほんの少しの工夫と練習で、見違えるほど上手に発表できるようになります。3人と一緒に発表のコツをひとつひとつ学んで、「話す力」と「聞く力」の花を咲かせましょう!

# この本の使い方

この本には、「準備の時間」のページとワークシートのページ、「発表の時間」と「聞く時間」のページがあります。



「準備の時間」では、上手な発表をするために、どのように準備をしたらいいかを説明しています。発表のコツもたくさん紹介しているので、本番の前にじっくり読んでおきましょう。

右ページは、発表の準備に使えるワークシートの記入例です。右上のQRコードから、白紙のワークシートのダウンロードページにアクセスできます。巻末には、コピーして使えるワークシートがあります。

「発表の時間」では、上手な発表の例を紹介しています。どのように発表しているか、聞き手になったつもりで読んでみてください。発表本番で気をつけたいポイントも説明しているので、チェックしておきましょう。



「聞く時間」では、発表の聞き手として気をつけたいポイントを紹介しています。話し手と聞き手とが力を合わせて、よりよい発表の時間を作りましょう。



# 元気よく自己紹介しよう

自分の意見や調べたことを発表するときは、誰でも緊張してしまうものです。  
 まずは、自己紹介を通して、みんなに聞いてもらえる話し方のコツをつかみましょう。  
 自己紹介は、自分のいいところや好きなことを知ってもらうチャンスです。



あしたはいよいよ新学期！  
 でもなんだかうかない顔だね。  
 新しいクラスでじょうずに自己紹介できるか、  
 不安でいっぱいみたい。どうしたら、みんなの  
 印象に残る自己紹介ができるのかな？



## 準備の時間

### その1 声のトーンを意識しよう

声のトーンとは、声の大きさや高さのことです。小さくて低い声でボソボソと話すと、聞き手に伝わりにくくなってしまいます。少し高めのトーンで話すことを意識すると、聞き取りやすい声になります。明るい声で一語一語をはっきりと話そうにしましょう。

#### ★ 口を大きく開けておなかから声を出す

口を大きく開け、はっきりと声を出します。息を大きく吸っておなかをふくらませ、おなかの空気を使って声を出すイメージを持ちましょう。

#### ★ いつものおしゃべりよりも「ゆったり」話す

みんなに話すときは、いつものおしゃべりよりも「ゆったり」を心がけましょう。早口にならないよう、一語一語をしっかり発声します。

#### ★ 姿勢も声もまっすぐに

まっすぐ立って、前を見て声を出しましょう。下を見ると、声が遠くに届きません。手は、おへその辺りなど、自分が楽だと思う位置になるようにします。



#### やってみよう おなかから声を出すには？

おなかから声を出すと、さげばなくても遠くまで声を通りやすくなります。その練習方法を紹介します。

まずは、床におお向けになります。リラックスして肩の力を抜き、肩甲骨が床につくようにします。片手はおなかの上に置きます。鼻から息を吸い込み、体の奥のほうから息を出すイメージで「あー」と声を出してみてください。そのときにおなか張るのが手のひらに伝わったら、おなかから声が出ています。

起き上がって同じようにやってみましょう。おお向けで声を出したときのおなかやノドの感覚を思い出して、やってみてください。



準備の時間 ☺

## その2 身ぶりや表情で聞き手を引きつける

友達や家族とのふだんの会話では、返事やあいづちで聞き手の反応がわかります。ところが、多くの人に向かって話しかけるときは一方通行になるため、聞いてもらうための工夫が大切です。話の内容が伝わるように話すには、どうすればいいのでしょうか。

### ★身ぶり手ぶりでイメージを伝える

手でものの大きさを表すなど、話の内容に合う動作を加えると、聞き手にイメージが伝わりやすくなります。手は、胸よりも上の位置で、大きくゆっくり動かすのがコツです。

### ★表情豊かに伝える

口の両端をぐっと上げて、笑顔で明るく話すのがスピーチの基本ですが、例えば真剣さを伝えたいときなどは、少し真面目な表情にするなど、工夫してみましょう。自分で「大げさかな」と思うくらいにすると感情がより伝わります。

### ★聞き手の表情を見て

聞き手の表情を確認しながら話すようにしましょう。ひとりの顔だけを見るのではなく、視線を移して、聞いているみんなの顔を見るようにします。

### やってみよう どんな身ぶりや表情で伝えようかな？

手で大きさや数を伝える



話の内容に関わる動作をする



そのときの気持ちに合う表情で



## その3 緊張しないためには？

発表本番はどうしても緊張してしまいがち。でも緊張しすぎると、声が出なくなったり、話す内容を忘れてしまったりします。本番までにリハーサルをしておいて、ほどよい緊張感で発表できるようにしましょう。

### ★深呼吸してリラックス

発表の前には、ふうっと息をはいてリラックスしましょう。他に、自分がほっとできる「ルーティン」を作って実践するのも、よい方法です。

### ★本番のつもりでリハーサル

時間内に話せるか、スピーチの時間を計ったり、足りない資料がないか確かめたりしながら、何度もリハーサルしましょう。友達に聞いてもらうと、聞き手の反応を確かめることができます。



### やってみよう 自分だけの「ルーティン」を作ろう

「ルーティン」は「私は大丈夫！」と自分を信じるスイッチのようなもの。スポーツ選手や芸能人でも、ここぞという場面で、自分なりのルーティンをすることも多いようです。「よし！」とやる気になれるルーティンを考えてみましょう。

- 緊張を解くルーティンには、こんなものがあるよ。
- ・ ゆっくりと深呼吸をする
  - ・ ストレッチをする
  - ・ 薬指をもむ
  - ・ お守りを持つ
  - ・ 鏡に向かって笑顔を作る





準備の時間

その4 自己紹介で何を話す？

自己紹介では、自分のことを知ってもらうために、自分はどんな人なのかを言葉にして説明します。どんな話題を選べば、みんなの印象に残るかを考えながら、自分を外側から観察するつもりで、見つめ直してみましょう。

★ 必要なのは「名前」「自分のこと」「あいさつ」

自己紹介に必要なことは、まずは自分の名前です。それから自分について伝えること。短い時間で自分を紹介するときは、話題は1つ～3つくらいにしぼりましょう。はじめと終わりに元気よくあいさつすることも大切です。

★ 自分をアピールできる話題は？

自分はどんな性格なのか考えて、それをアピールできる話題を探します。話題選びをするには、聞き手が何を知りたいと思っているのか、想像することも大切です。



やってみよう 自己紹介シートで考えてみよう

ステップ1

自分のことを書き出してみよう

得意なことなど、自分のことをたくさん書き出しましょう。シートは全部埋めなくても大丈夫。伝えたい話題があれば、シートに項目を追加してもよいでしょう。

ステップ2

特に伝えたいことを選んで、詳しく書こう

書き出したなかから、特に伝えたいことについて、詳しく説明しましょう。起こったできごとの具体的な内容や、考えなどの理由を書くと、印象に残る自己紹介になります。

ステップ3

みんなへのメッセージを忘れずに

自己紹介は「はじめまして」のあいさつでもあるので、聞き手へのメッセージも伝えましょう。



ここからダウンロード!



自己紹介シート

5年 1組 名前 青野 そら

自分のどんなところを伝えたいか整理してみましょう。書くことに迷ったら、自分のことをよく知っている人に聞いてみることも、役に立ちます。

ステップ1 自分のことを書き出してみよう

たんじょう日	9月 20日
去年のクラス	4年1組
習いごと	
得意なこと	おかし作り
好きなもの・こと	ケーキ サッカー 理科
将来の夢	パティシエ



空いている欄には自由に項目を追加しよう

ステップ2 特に伝えたいことを選んで、詳しく書こう

将来の夢	パティシエ
ケーキが好きなので将来はパティシエになりたい！ 新しいケーキを開発したい。 だから、休みの日は家でおかし作りの練習をしている。	

ステップ1の中から、特に伝えたい項目を選んで書き入れよう



ステップ3 みんなへのメッセージを忘れずに

作ったおかしを味見してほしい。  
みんなといっしょに楽しいクラスにしたい。

発表の時間

はじめまして!  
ぼくの名前は…



はじめまして。青野そらです。去年は4年1組でした。

ぼくはケーキが大好きです。食べるのも好きですが、実は作るのも好きです。なので、将来はパティシエになって、新しいケーキを開発したいと思っています。休みの日はよくおかしを作ります。みなさん、よかったらうちに遊びに来て、ぼくの作ったおかしの味見をしてください。

これから一年間、みなさんと楽しく過ごしたいと思います。よろしくお願ひします!

聞く時間

聞きじょうずになろう

人が発言しているあいだは、おしゃべりせず、静かに聞くのが基本です。でも話し手に気持ちよく話してもらうには、もうひと工夫が必要です。ここでは、聞く側のポイントを紹介します。

3つのポイント

- ① 話す人の目を見て聞こう
- ② うなずいたり、笑ったりして、話し手の言葉に反応を示そう
- ③ 終わったら拍手をしよう

まずは話す人の目を見て聞きましょう。また、話し手の話に共感できる場所でうなずいたり、おもしろい話には笑ったりして、話をちゃんと聞いていることを、話し手に知らせるのも大切。発表が終わったら拍手をして、素敵な発表だったことを伝えましょう。



楽しそうに聞いてもらえると、もっともっと話したくなるよね!

口を大きく開けて、笑顔でハキハキと話そう

「パティシエになりたい」ことを伝えるだけでなく、「ケーキが好きだから」という理由も一緒に伝える

最後のメッセージは、みんなの顔を見て元気に!







# デジタルツールを活用しよう

## 資料作りにも、コミュニケーションにも便利

デジタルツールを使って資料を作れば、書き間違えたときに一から書き直さなくても、間違えた箇所だけを簡単に直すことができます。また、離れたところにいる人と同時に作業することもできます。



### 軽くて持ち運びがしやすい タブレット・スマホ

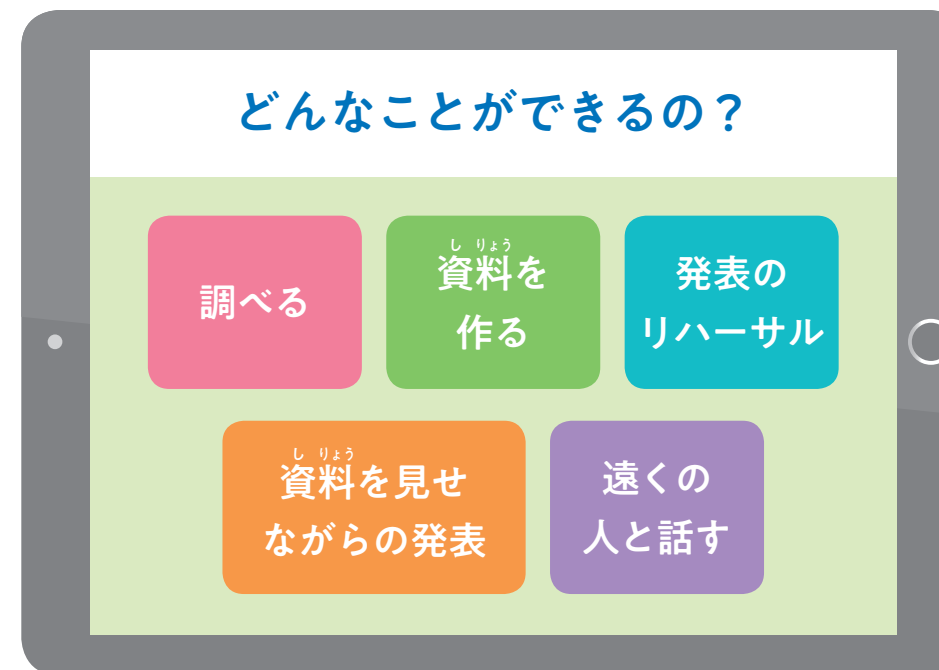
画面にタッチして操作します。文字の入力モードを「フリック入力」にすると、例えば「か」の文字盤に指を置いたとき、周りに「き」「く」「け」「こ」の文字が現れ、指を上下左右に素早く動かすことで文字が入力できます。慣れると速く文字が打てて便利です。

### 大きなデータでもラクラクの パソコン

机に置いたままで使うデスクトップ型と、折りたたんで持ち運べるノート型があります。操作にはキーボードやマウス、タッチパッドを使います。たくさんの文字を入力するときや、大きなデータを扱うときに便利です。

## 発表に使えるアプリがたくさん

パソコン、タブレット、スマホには、発表内容をまとめたり、発表の練習をしたりするのに便利なさまざまなアプリ（アプリケーション・ソフトウェア）があります。アプリをじょうずに活用して、よりよい発表を目指しましょう。



### こんなときはこのアプリ！

調べる	インターネットで検索し、ウェブサイトを見るアプリ
資料を作る	写真や文章を好きなデザインにまとめるアプリ
発表のリハーサル	練習動画を撮影し、自分でチェックできるカメラアプリ
資料を見せながらの発表	みんなに資料を見せながら発表できるプレゼンテーションソフト
遠くの人と話す	離れたところにもグループで会話できるアプリ